

2023年度 秋学期 上智大学 グリーフケア人材養成講座 聴講生 募集要項

1. 聴講制度

東京のグリーフケア人材養成講座修了生を対象に、本講座で開講している授業科目のうち特定の科目について、授業の運営に支障のない範囲で、聴講を認める制度です。

ただし、ご自身が修了した課程までの科目が対象となります。例えば、グリーフケア人材養成課程を修了した方の場合、資格認定課程の科目を聴講することはできません。

修了した課程またはコースの名称	人材養成課程の科目	資格認定課程の科目	専門課程の科目
グリーフケア人材養成課程	○	×	専門課程には聴講対象となる科目はありません。
資格認定課程	○	○	
専門課程	○	○	
臨床コース	○	○	
基礎コース・臨床傾聴士講座	○	×	
基礎コース	○	×	

※聴講生として科目を履修しても、単位の取得および成績評価を受けることはできません。

2. 聴講可能な科目は、1科目のみです。複数科目の同時聴講はできません。

3. 聴講できる科目は、以下7.の聴講開放科目一覧に記載されている科目のみです。

4. 出願

出願期間：2023年9月11日(月)～18日(月)

出願方法：以下のURLまたはQRコードからMicrosoft Formsにアクセスし、「聴講生願書」に必要事項を入力の上、送信してください。



<https://forms.office.com/r/N7TXawfThx>

5. 決定通知

2023年9月20日(水)付けで、聴講を許可した科目の決定通知を送付します。

その際に、受講料の納入方法も説明いたします。

6. 聴講料の納入

2023年9月20日(水)から25日(月)までの間に、聴講料(1単位あたり12,000円)を納入いただきます。1科目24,000円となります。

納入いただいた聴講料は、当該科目が開講中止となった場合を除き、返還いたしません。

7. 聴講科目(2023 年度秋学期【東京】)

※聴講可能な科目は、水曜日開講の授業で、すべてオンライン授業(Zoom)で行います。

※聴講可能な科目は、輪講形式で行います。各回の担当教員については、次頁以降のシラバスを参照してください。

【聴講科目一覧】

課程	曜日	授業時間	科目名	講義回数	単位数	コーディネーター
人材養成	水	18:30~20:00	キリスト教人間学	15	2	寺尾 寿芳
		18:30~20:00	スピリチュアルケア原論	15	2	葛西 賢太
資格認定	水	18:30~20:00	先端医療・緩和医療	15	2	水嶋 章郎

【2023 年度秋学期授業日程】

【秋学期】

	開講日
1	9月27日
2	10月4日
3	10月11日
4	10月18日
5	10月25日
6	11月8日
7	11月15日
8	11月22日
9	11月29日
10	12月6日
11	12月13日
12	12月20日
13	1月10日
14	1月17日
15	1月24日

課程	グリーンケア人材養成課程		
科目名	キリスト教人間学		
開講年度・学期	2023年度 秋学期		
開講曜日・時限	水曜日 6時限		
単位数	2単位		
担当教員	寺尾寿芳（コーディネーター）、山岡三治、鈴木伸国、久保文彦、酒井陽介、佐藤啓介		
講義概要	<p>上智大学の教育理念を伝える科目。 特に、グリーンケア研究所の講義科目としてのキリスト教人間学では、キリスト教のスピリチュアリティと、その様々な展開また歴史社会とのかかわりについて理解を深める。そこから近代的人間の特徴と課題を明確化すると共に、そこに求められるスピリチュアルケアを考察する。 本講義は特にキリスト教の理論と実際という両側面に焦点を当てた内容で構成されている。つまり、キリスト教という宗教に内包される抽象的、論理的思考方法を踏まえたうえで、多様なかたちで人の現実と関係し、人の癒しと救済を志向しているかが概観される。まずはキリスト教理解の基礎にある聖書の知識を学び、続いてキリスト教の人間理解を哲学や心理学との接点から理解する。最後に宗教文化の諸事象と交叉する形で、キリスト教の人間観が示す展開可能性を探求する。なお、諸宗教のスピリチュアリティの詳細については、講義科目「宗教学」「死生学」において言及する。</p>		
授業目標	<p>1) さまざまな学びや実践の基礎になる、キリスト教人間学が提供する根源的な批判力について理解する。 2) キリスト教におけるスピリチュアリティと、西欧の文化・学問・思想におけるその影響について理解する。 3) キリスト教のスピリチュアリティが養うケアの本質についての議論を理解する。</p>		
評価	学期末レポート		
授業計画		担当	内容
	第1回 (9/27)	久保	イエスの霊性
	第2回 (10/4)	久保	イエスの人間理解 (1) —— 貧しい人々との関わり
	第3回 (10/11)	久保	イエスの人間理解 (2) —— 病者との関わり
	第4回 (10/18)	鈴木	グリーンケアにおける「たましい」
	第5回 (10/25)	鈴木	グリーンケアにおける「人格」
	第6回 (11/8)	鈴木	グリーンケアにおける「こころ」
	第7回 (11/15)	酒井	キリスト教の霊性 (1) —— キリスト教における霊性とは
	第8回 (11/22)	酒井	キリスト教の霊性 (2) —— 現代の霊性の紹介
	第9回 (11/29)	佐藤	キリスト教における生と死——死と悲しみをめぐって
	第10回 (12/6)	佐藤	キリスト教における生命観——尊厳死と自死を中心に
	第11回 (12/13)	佐藤	キリスト教における記憶のケア
	第12回 (12/20)	寺尾	祈る——この世を生きる人間 (1)
	第13回 (1/10)	寺尾	坐る——この世を生きる人間 (2)
	第14回 (1/17)	寺尾	集う——この世を生きる人間 (3)
第15回 (1/24)	山岡	キリスト教の儀礼 (サクラメント・秘跡) の人間学的な意味	
教科書・参考書	<p>参考書： 『カトリック教会の教え』（日本カトリック司教協議会）カトリック中央協議会、2003年ISBN:978-4-87750-106-8 『イエスとその福音』（岩島忠彦）教友社、2005年 ISBN：978-4-90221-113-9 『ラウダート・シ とともに暮らす家を大切に』（教皇フランシスコ）カトリック中央協議会、2016年 ISBN：978-4-87750-199-0</p>		

課程	グリーンケア人材養成課程		
科目名	スピリチュアルケア原論		
開講年度・学期	2023年度 秋学期		
開講曜日・時限	水曜日 6時限		
単位数	2単位		
担当教員	葛西賢太（コーディネーター）、浜渦辰二、栗原幸江、伊藤高章、高橋祥友、大村哲夫		
講義概要	<p>グリーンケアが、人生に不可避な様々な喪失体験に伴う心の反応の理解とケアの学問的実践の領域であるのに対し、スピリチュアルケアは、すべての人に本来備わっているスピリチュアリティとその働きに注目する。最終学期の科目として、これまでの学びを再統合する機会を提供する。スピリチュアルケア提供者とケア対象者との関係性への総合的理解を目指す。</p> <p>欧米の近年の研究は、スピリチュアリティを： 「スピリチュアリティとは人間性の力動的で本質的な一側面であり、 人は、それを通して、究極的な意味・目的・超越を探し求め、 それを通して、自己・家族・他者・コミュニティ・社会・自然・大切にすべきもの・神聖なものとの関係を経験する。 スピリチュアリティは、信仰・価値観・伝統・実践を通して表出される。」 (Puchalski, Vitillo, Hull et al. International Conference on Global Integrating Spirituality into Health, 2013)</p> <p>と定義するが、日本文化におけるこの妥当性も含め、思想的・理論的・実践的に検討する。随時ディスカッションの時間を設け、社会人受講生の経験を分かちあい、授業内容の深化を図ると共に、学びの内容がそれぞれの現場にどのような意味を持っているかを検討する。</p>		
授業目標	1) スピリチュアルケアの諸概念を理解する。 2) スピリチュアルケア提供者の姿勢と課題を理解する。		
評価	学期末レポート		
授業計画	回	担当	内容
	第1回 (9/27)	浜渦	イントロダクション
	第2回 (10/4)	栗原	スピリチュアルケアの実践－緩和ケアとスピリチュアルケア（1）
	第3回 (10/11)	栗原	スピリチュアルケアの実践－緩和ケアとスピリチュアルケア（2）
	第4回 (10/18)	栗原	スピリチュアルケアの実践－緩和ケアとスピリチュアルケア（3）
	第5回 (10/25)	伊藤	スピリチュアルケアの理論（1）
	第6回 (11/8)	伊藤	スピリチュアルケアの理論（2）
	第7回 (11/15)	伊藤	スピリチュアルケアの理論（3）
	第8回 (11/22)	葛西	スピリチュアルケアの位置づけ（1）
	第9回 (11/29)	葛西	スピリチュアルケアの位置づけ（2）
	第10回 (12/6)	葛西	スピリチュアルケアの位置づけ（3）
	第11回 (12/13)	高橋	スピリチュアルケアの背景（1）
	第12回 (12/20)	高橋	スピリチュアルケアの背景（2）
	第13回 (1/10)	大村	スピリチュアルケアをかんがえる（1）
	第14回 (1/17)	大村	スピリチュアルケアをかんがえる（2）
第15回 (1/24)	大村	スピリチュアルケアをかんがえる（3）	
教科書・参考書	参考書： 『アルコールクス・アノニマスの歴史』（アーネスト・カーツ）明石書店 ISBN：978-4-7503-5076-9 『共に生きるスピリチュアルケア』（瀧口俊子他）創元社 ISBN:978-4-422-11773-7		

課程	資格認定課程		
科目名	先端医療・緩和医療		
開講年度・学期	2023年度 秋学期		
開講曜日・時限	水曜日 6時限		
単位数	2単位		
担当教員	水嶋章郎（コーディネーター）、渡邊心、鹿間直人、吉川征一郎、井関雅子、加藤俊介、奥出有香子、阿瀬寛幸、奥野滋子、高木辰哉、田嶋美幸、高橋啓示、藤村純也、北出真理		
講義概要	我が国の先端医療・緩和医療の現状を概説する		
授業目標	スピリチュアルケア/グリーフケア担当者として医療現場でチームの一員として働く際に心得ておくべき、今日の医療のレベルをわきまえておく		
評価	出席およびリアクションペーパー提出状況によって評価する ※状況によりレポート提出を課すことがある		
授業計画	回	担当	内容
	第1回 (9/27)	水嶋	我が国の緩和医療の現況
	第2回 (10/4)	渡邊	救急医療
	第3回 (10/11)	加藤	薬物療法
	第4回 (10/18)	鹿間	緩和的放射線治療
	第5回 (10/25)	吉川	手術療法、低侵襲手術、消化器癌
	第6回 (11/8)	井関	がん患者の経験する疼痛と治療法
	第7回 (11/15)	奥出	がん看護～リンパ浮腫のあるがん患者の看護を通じて～
	第8回 (11/22)	阿瀬	リハビリテーションの魔法
	第9回 (11/29)	奥野	緩和医療・在宅医療「喪失と共に生きる人たちに寄り添うということ」
	第10回 (12/6)	高木	整形外科、がんの運動器診療
	第11回 (12/13)	田嶋	緩和に使う薬の知識
	第12回 (12/20)	高橋	緩和ケアと臨床心理学
	第13回 (1/10)	藤村	小児科医療の特性と小児がん
	第14回 (1/17)	北出	妊孕性温存療法
第15回 (1/24)	水嶋	総括、緩和医療の将来	
教科書・参考書	参考書：『患者さんと家族のための がんの痛み治療ガイド増補版（2017）』 日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン統括委員会（編集）ISBN：978-4-307-10186-8		